



## ティーズネクスト株式会社

代表取締役 田邊 幹雄さん

起業家

# 魂!

ティーズネクスト株式会社  
 ■代表者/代表取締役 田邊幹雄  
 ■従業員数/3名  
 ■住所/滋賀県大津市打出浜2-1  
 コラポしが214号  
 ■創業/2018年  
 ■業務内容/イルミネーション導光板製品の開発、光学レンズ設計、試作制作、翻訳サービスの提供、映像通訳サービス「みえる通訳」の販売取次店  
 ■TEL / 077-575-6868  
 ■URL / https://tsnext.co.jp/



イルミネーション導光板を水槽に応用した試作品(上)。より華やかで楽しいアクアリウムが表現できる

## 独自の技術で表現する変幻自在のイルミネーション新分野で顧客開拓をめざして

無色透明、向こう側が透けて見えるアクリル板。そこにひとたび電源を入れれば、華やかな色と動きでキラキラと文字や模様浮かび上がる。高度な光学設計技術によってつくり出されるアクリル板上のイルミネーションは、遊技機器の業界で確立されてきた特殊な技術だ。ティーズネクスト株式会社は、この「イルミネーション導光板」を新たな分野で展開しようと奮闘を続けている。

### ● 培った光学技術を武器に

—— 創業までの経緯をお聞かせください  
もともと私は車のランプなどの光学設計・製造を手掛けるスタンレー電気株式会社のグループ会社にいました。パチンコ台をはじめとする遊技機器を、現在のようにLEDでキラキラ光らせる流れをつくった会社の一つがスタンレー電気です。私はその関連部署に配属されていました。2009年、同社の遊技機器を中心とした光学設計部門におられた方が独立し、株式会社エー・アイ・ディー(A.I.D)を設立されました。私は2012年にA.I.Dに合流し、マネジメントを担当。2015年には社員14名で売り上げ14億円を超える企業にまで成長しました。

ところがその後、遊技業界は右肩下がり、A.I.Dも売上減少の一途でした。そこで挽回策として、映像と翻訳を組み合わせた新規事業を立ち上げることに、

動画投稿サイトの音声を瞬時に翻訳するソフトの開発に着手しました。私はそのプロジェクトも担当することになり、翻訳者とのネットワーク構築を手掛けました。しかし大きな投資をしたもののアプリ開発はなかなか軌道に乗らず、A.I.Dは本業だった光学部門の整理を決めます。私は翻訳アプリ開発担当でしたが、それまで会社を支えてくれた光学技術とその技術者たちを切り捨てることに納得できず、社長と相談のうえ2018年に独立。創業したのがティーズネクスト株式会社です。



タブレットやスマートフォンを使い、ワンタッチで通訳オペレーターにつながる「みえる通訳」の取次店でもある。定額で利用でき、接客などで活用されている

### —— 創業後の事業内容は?

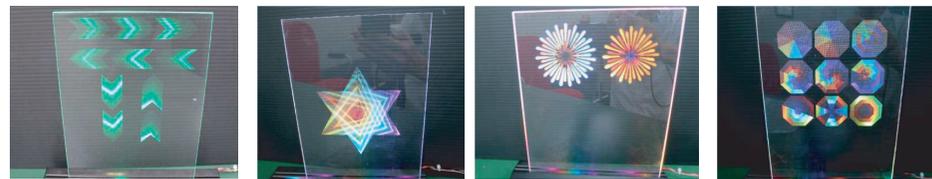
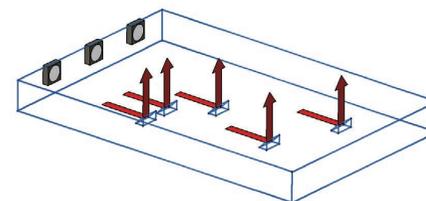
当初は翻訳アプリ開発の業務委託というかたちでA.I.Dと協業する予定でしたが、見込んでいた受注が白紙になってしまいました。そこで前職時に私自身が開拓した40カ国語に及ぶ翻訳に対応できるネットワークを生かし、エージェント業務という形で翻訳業を継続することにしました。

また、光学設計はもっと用途開発ができるはずという思いもあり、社長の同意を得て光学設計も手掛けることにし、元A.I.Dの光学設計の技術責任者と、私の部下だった人と3人でスタートしました。



## イルミネーション導光板 原理

透明な素材に施した微細なドットパターンにLEDの光を反射させ、発光させる。複雑な表現をするためには、ドットの形状やLEDの配置、LEDに付随する集光レンズなど、高度で総合的な光学設計技術が求められる。ティーズネクスト社はこれまでに培った独自のノウハウで、顧客のイメージどおりの光り方を実現するだけでなく、イルミネーションの新たな表現を追求し、提案している。



### ● 新たな販路を求めて

#### —— 御社の強みとは?

現在の事業の柱は遊技機器向けの光学設計です。当社の場合、パチンコ台製造の請負業者から発注を受けて開発と設計を担当しています。イルミネーション導光板は、透明なアクリル板の表面に目に見えないレベルの微細なドットを彫り、LEDの光を反射させることで光らせます。ドットの形状や彫り方、光の当て方などを変えることで様々な動きを表現でき、1枚の板に異なる模様を浮かび上がらせたり、3D表現も可能です。



3Dプリンターを活用したサインの発注体制づくりを進めている。光るロゴのほか、安価な立体ロゴの制作も検討中

この技術をもっているのは日本では3社ほどで、そのうち独自のノウハウを確立しているのは私の知る限り、当社(協力会社含む)ともう1社のみ。顧客の望む“光らせ方”を実現するためには高度な設計技術が必要で、それができることが当社の強みです。設計がまずいと光が分散したり、模様が多重にばやけたりしてしまい、LEDの光を反射させることで光らせます。お客様の要望を聞き、デザインの魅力を引き出す設計を行って加工会社に渡す“インターフェイス”の役割が果たせるのも、経験と技術があってこそなのです。

#### —— 創業オフィスに入居された目的は?

遊技業界全体は厳しい局面に置かれています。狭い業界に留まらず、私たちの技術を買ってくれる新たな顧客を開拓しなければ活路はありません。しかし、私たちに顧客開拓のつてもノウハウがありません。前職では横浜が拠点でしたが、起業するなら地元の滋賀へUターンしたいという思いもあり、人づてで県が支援してくれると聞いてプラザの扉を叩きました。創業オフィス※に入居したことで、IM(インキュベーション・マネジャー)に助言をもらいながら、現在は当社の技術を応用

してどんな顧客がどんな商品で喜んでくれるのか、模索しているところです。

#### —— 今後の展望をおきかせください

イルミネーション導光板は、消えているときは透明で、点灯するとあたかも動画のような表示ができ、用途は非常に幅広いと考えていますが、現在は建材、サイン、看板、玩具の3つの市場を主に開拓中です。

例えば、観賞魚の水槽やフィギュアケース、ドアサインなど、さまざまなサンプルを試作して関連会社に持ち込んでいるところで、光の演出との組み合わせで今までになかった新たな付加価値を創出できると確信しています。

また、導光板にこだわらず安価で購入しやすい商品の取り組みも進めており、樹脂設計のノウハウを応用し、3Dプリンターを使って内製するオーダーメイド表示板の受注を始める予定です。今は正直、新型コロナウイルスの影響もあって苦しいですが、我々の光学設計技術と用途の可能性を信じて、自分たちに出来ること、やるべきことを捨選択しながら新たな販路を開拓していきたいと思っています。

#### ※創業プラザ滋賀・創業オフィス

コラポしが21インキュベーション事業の一環で、起業家と共に考え、行動する支援施設です。単なる賃貸施設とは異なり、起業家の成長段階に応じた支援を受けることができ、創業・起業家のための学びの場を提供するほか、常駐するIM(インキュベーション・マネジャー)によるサポートを受けることができます。これから起業する方、創業後問のない方、第二創業で新事業に挑戦する方をサポートします。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ  
経営支援部 創業支援課 担当/中村

☎ 077-511-1412 📠 077-511-1418 ✉ in@shigaplaza.or.jp